

今月のトピックス

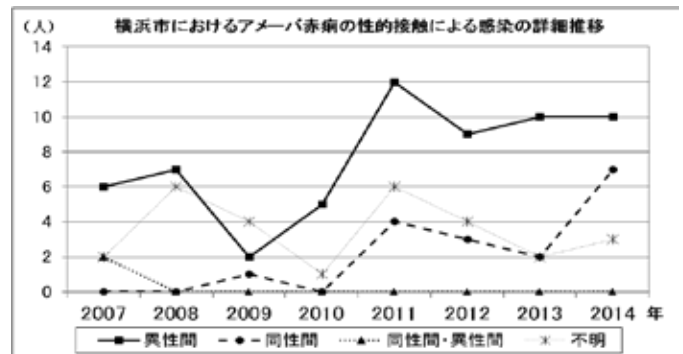
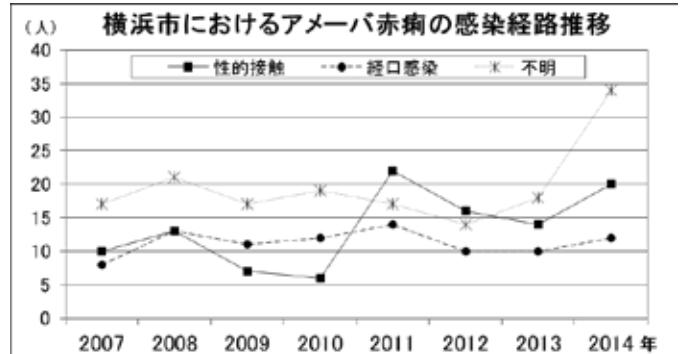
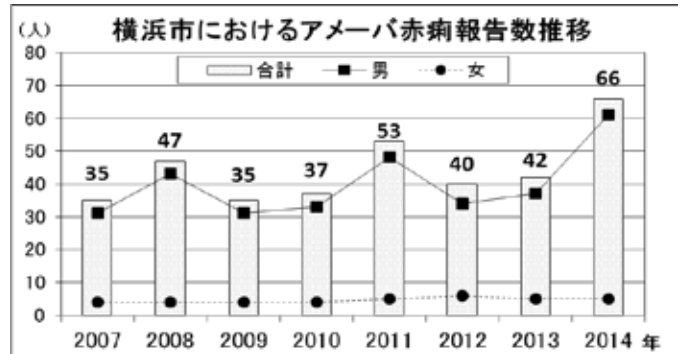
- 1 A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎の報告が多くなっています。
- 1 夏季に流行する感染症(腸管出血性大腸菌感染症、咽頭結膜熱、手足口病等)に注意しましょう。

全数把握の対象

【5 月期に報告された全数把握疾患】

腸管出血性大腸菌感染症	3 件	後天性免疫不全症候群(HIV 感染症を含む)	4 件
A 型肝炎	1 件	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1 件
マラリア	1 件	侵襲性肺炎球菌感染症	15 件
レジオネラ症	3 件	水痘(入院例に限る)	2 件
アメーバ赤痢	4 件	梅毒	9 件
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	3 件		

- 1 腸管出血性大腸菌感染症: 3 件(O157VT1VT2 1 件、O157VT2 1 件、O18VT1 1 件)の報告がありました。感染原因が特定されたものはありませんでした。本疾患はこれから夏にかけて例年報告数が増加するため注意が必要です。
- 2 A 型肝炎: 1 件の報告がありました。国内での経口感染が推定されていますが感染経路等不明です。
- 3 マラリア: 熱帯熱マラリアの報告が 1 件あり、渡航先(ガーナ)での感染が推定されています。
- 4 レジオネラ症: 肺炎型 3 件の報告がありましたが、それぞれ明確な感染経路等は不明です。
- 5 アメーバ赤痢: 腸管アメーバ症 3 件、腸管外アメーバ症 1 件の報告がありました。そのうち 1 件では国内での同性間性的接触による感染が推定されており、1 件は香港での経口性的接触による感染、残る 2 件は感染経路感染地域等不明でした。横浜市ではアメーバ赤痢の報告数が漸増傾向です。最近の感染経路では性的接触が経口感染を上回っており、性的接触では異性間が同性間を上回っています。
- 6 カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症: 3 件の報告がありましたが、院内集団感染等は確認できませんでした。
- 7 後天性免疫不全症候群(HIV 感染症を含む): AIDS 3 件、その他 1 件の報告がありました。そのうち 2 件は国内での同性間性的接触、1 件は国内での異性間性的接触による感染、残る 1 件は異性間性的接触による感染で、感染地域は不明でした。
- 8 侵襲性インフルエンザ菌感染症: 70 歳代の報告が 1 件ありました。予防接種歴はありませんでした。
- 9 侵襲性肺炎球菌感染症: 15 件(70 歳代以上 6 件、60 歳代 2 件、50 歳代 1 件、40 歳代 3 件、乳幼児 3 件)の報告がありました。そのうち乳幼児では全例予防接種歴がありましたが、成人例ではすべて予防接種歴が確認できませんでした。
- 10 水痘(入院例に限る): 80 歳代(予防接種歴不明)の届出が 1 件、学童(予防接種歴 1 回あり)の届出が 1 件



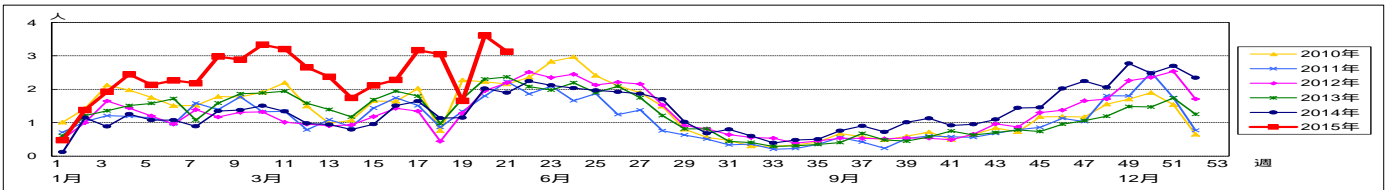
ありました。どちらも臨床診断例です。

- 11 **梅毒**:早期顕症梅毒 期が 4 件、早期顕症梅毒 期が 4 件、無症候期が 1 件の報告がありました。すべて国内での性的接触による感染が推定されており、異性間が 5 件、同性間が 3 件、不明 1 件でした。梅毒は全国的に増加しており、厚生労働省では注意喚起のために「[梅毒に関する Q&A](#)」をホームページに掲載しています。

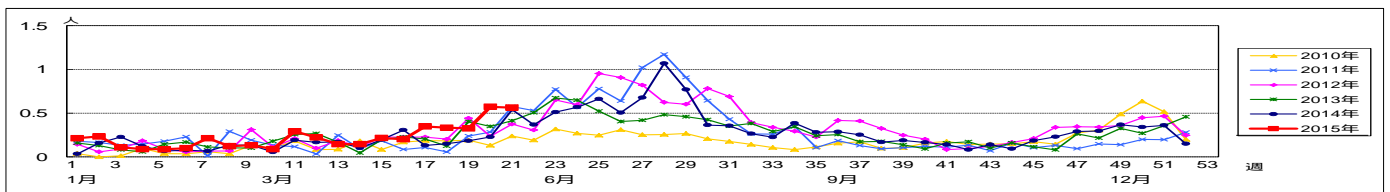
定点把握の対象

平成 27 年 週 - 月日対照表	
第 17 週	4 月 20 日 ~ 26 日
第 18 週	4 月 27 日 ~ 5 月 3 日
第 19 週	5 月 4 日 ~ 10 日
第 20 週	5 月 11 日 ~ 17 日
第 21 週	5 月 18 日 ~ 24 日

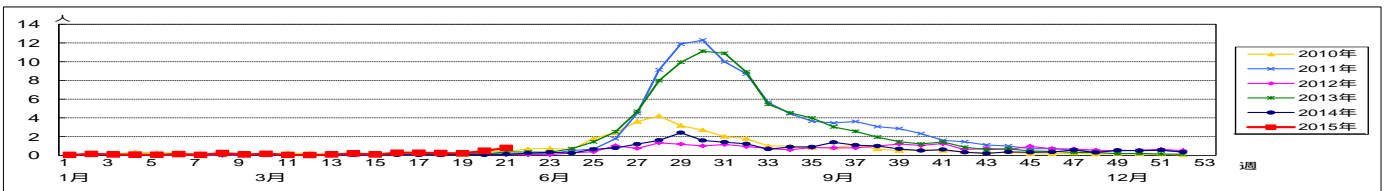
- 1 **A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎**:第 21 週は市全体で定点あたり 3.13 と、例年の同時期と比べて報告が多くなっています。A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎は学童期の小児に多い疾患です。合併症として、肺炎、髄膜炎、敗血症などの化膿性疾患、あるいはリウマチ熱、急性糸球体腎炎などの非化膿性疾患を生ずることもあり、注意が必要です。



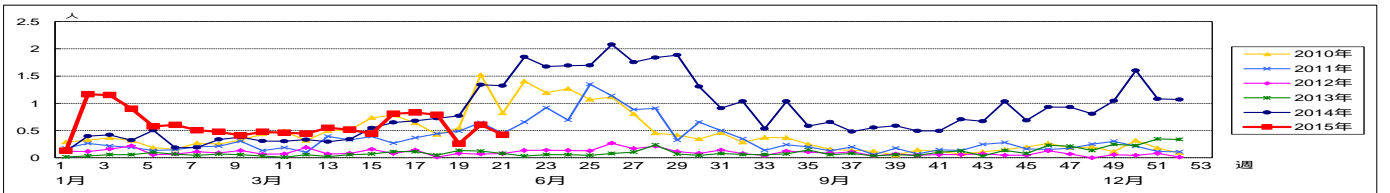
- 2 **咽頭結膜熱**:第 21 週は市全体で定点あたり 0.56 と増加傾向です。本市では例年 6 月 ~ 7 月にかけて報告のピークを迎えるので今後の注意が必要です。感染経路は、プールを介した場合には、汚染した水から結膜への直接侵入と考えられています。また、プールでのアウトブレイクの調査結果からは、タオルを共用したことが感染のリスクを高めたとの報告もあります。それ以外では通常飛沫感染、あるいは手指を介した接触感染であり、結膜あるいは上気道からの感染です。



- 3 **手足口病**:まだ報告数は多くありませんが、夏季に流行する疾患であり、第 19 週 0.21、第 20 週 0.49、第 21 週 0.79 と、少しずつ報告数が増えています。



- 4 **伝染性紅斑**:第 21 週は市全体で定点あたり 0.43 と低下傾向です。



- 5 **性感染症**:4 月は、性器クラミジア感染症は男性が 22 件、女性が 13 件でした。性器ヘルペス感染症は男性が 6 件、女性が 7 件です。尖圭コンジローマは男性 4 件、女性が 2 件でした。淋菌感染症は男性が 7 件、女性が 2 件でした。
- 6 **基幹定点週報**:マイコプラズマ肺炎は第 17 週 0.25、第 18 週 1.00、第 19 週 1.25、第 20 週 0.00、第 21 週 1.00 となっています。感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)は、第 17 週 1.00、第 18 週 0.67、第 19 週 0.50、第 20 週 0.33、第 21 週 0.00 となっています。無菌性髄膜炎、クラミジア肺炎、細菌性髄膜炎の報告はありませんでした。
- 7 **基幹定点月報**:4 月はメチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症 15 件、薬剤耐性緑膿菌感染症 1 件の報告がありました。ペニシリン耐性肺炎球菌感染症の報告はありませんでした。

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。
 横浜市衛生研究所ホームページ URL:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kenko/eiken/>